

國文學



Color calibration strip with text: "Pantone Color Management System" and "Pantone Color Matching System".

Library label area containing a barcode and several rows of text, possibly a title or call number.

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

CHICAGO, ILLINOIS, U.S.A.

1963

PRINTED IN GREAT BRITAIN

BY THE UNIVERSITY PRESS, CAMBRIDGE

AND THE UNIVERSITY PRESS, BOMBAY

AND THE UNIVERSITY PRESS, CALCUTTA

AND THE UNIVERSITY PRESS, MADRAS

AND THE UNIVERSITY PRESS, SINGAPORE

AND THE UNIVERSITY PRESS, TRIVANDRUM

AND THE UNIVERSITY PRESS, YOKOHAMA



UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

CHICAGO, ILLINOIS, U.S.A.

其後，（一） 漢代，（二） 魏晉，（三） 南北朝，（四） 隋唐，（五） 宋元，（六） 明清，（七） 民國，（八） 現代，（九） 未來，（十） 永恒。

其後，（一） 漢代，（二） 魏晉，（三） 南北朝，（四） 隋唐，（五） 宋元，（六） 明清，（七） 民國，（八） 現代，（九） 未來，（十） 永恒。

一、凡欲求道者，必先求其心之正也。

二、心正則氣自平，氣平則神自清。

三、神清則智自明，智明則道自見。

四、道見則德自修，德修則功自成。

五、功成則名自顯，名顯則利自至。

六、利至則壽自長，壽長則道自傳。

七、道傳則德自化，德化則民自歸。

八、民歸則國自治，國治則天下自平。

九、天下平則道自興，道興則功自著。

一、凡欲求道者，必先求其心之正也。

二、心正則氣自平，氣平則神自清。

三、神清則智自明，智明則道自見。

四、道見則德自修，德修則功自成。

五、功成則名自顯，名顯則利自至。

六、利至則壽自長，壽長則道自傳。

七、道傳則德自化，德化則民自歸。

八、民歸則國自治，國治則天下自平。

九、天下平則道自興，道興則功自著。

一、論天運之變遷

天運之變遷，非人力所能及也。然其變遷之由，則有可說者。蓋天運之變，由於氣之聚散。氣聚則成，氣散則敗。故天運之變，實由於氣之變。氣之變，由於五行之相生相克。五行相生，則天運昌；五行相克，則天運衰。此天運變遷之理也。

夫天運之變，非一日而足。其變之由，實由於積。積善之家，必必餘慶；積惡之家，必必餘殃。此天運變遷之理也。故君子必先慎乎德，德薄而福厚，天必降災；德厚而福薄，天必降福。此天運變遷之理也。

二、論人事之修齊

人事之修齊，非天運所能及也。然其修齊之由，則有可說者。蓋人事之修，由於心之正邪。心正則行直，心邪則行曲。故人事之修，實由於心之變。心之變，由於理之明暗。理明則心正，理暗則心邪。此人事修齊之理也。

三、論國運之興衰

國運之興衰，非天運所能及也。然其興衰之由，則有可說者。蓋國運之興，由於德之盛衰。德盛則國昌，德衰則國敗。故國運之興，實由於德之變。德之變，由於君之賢不肖。君賢則德盛，君不肖則德衰。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

夫國運之興衰，非一日而足。其興衰之由，實由於積。積善之國，必必昌隆；積惡之國，必必衰敗。此國運興衰之理也。故君子必先慎乎德，德薄而國昌，天必降災；德厚而國衰，天必降福。此國運興衰之理也。

一、...

二、...

三、...

四、...

五、...

六、...

七、...

八、...

九、...

十、...

十一、...

十二、...

十三、...

十四、...

十五、...

十六、...

十七、...

十八、...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、論學問之要
 夫學問之要，在於博學之，審問之，慎思之，明辨之，篤行之。此五者，學問之次第也。博學之，則足以見其大；審問之，則足以見其微；慎思之，則足以見其理；明辨之，則足以見其是非；篤行之，則足以見其效。此五者，缺一不可。

二、論讀書之法
 讀書之法，在於先讀其大綱，後讀其細節。先讀其大綱，則足以知其大略；後讀其細節，則足以知其精微。此二者，不可偏廢。

三、論處世之方
 處世之方，在於待人以誠，接物以和。待人以誠，則足以信之；接物以和，則足以容之。此二者，不可不察。

四、論修身之要
 修身之要，在於克己復禮，存心養性。克己復禮，則足以去其私；存心養性，則足以存其善。此二者，不可不修。

一、論名教之重
 名教之重，在於名不虛傳，教有實效。名不虛傳，則足以垂於後世；教有實效，則足以化民成俗。此二者，不可不重。

二、論禮儀之節
 禮儀之節，在於節制其情，適中其用。節制其情，則足以去其過；適中其用，則足以去其不及。此二者，不可不節。

三、論孝悌之德
 孝悌之德，在於事親以敬，事長以順。事親以敬，則足以盡其孝；事長以順，則足以盡其悌。此二者，不可不德。

四、論忠信之義
 忠信之義，在於忠於其職，信於其言。忠於其職，則足以盡其忠；信於其言，則足以盡其信。此二者，不可不義。

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

其間亦有 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

其間亦有 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

... 詩集 七 ...

... 詩集 七 ...

... 詩集 七 ...

... 詩集 七 ...

卷之十 雜著 卷之十 雜著

論學問之要 夫學問之要 在於心術之正 與才力之充

心術之正 則德業日進 才力之充 則事業日成

德業日進 則名望日隆 事業日成 則功業日著

名望日隆 則天下歸心 功業日著 則天下歸德

天下歸心 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

天下歸德 則天下歸德 則天下歸德 則天下歸德

卷之十 雜著

論學問之要

夫學問之要

在於心術之正

與才力之充

心術之正

則德業日進

才力之充

則事業日成

德業日進

則名望日隆

事業日成

則功業日著

名望日隆

則天下歸心

功業日著

則天下歸德

天下歸心

則天下歸德

則天下歸德

則天下歸德

一、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
二、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
三、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
四、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
五、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
六、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
七、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
八、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
九、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
十、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。

一、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
二、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
三、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
四、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
五、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
六、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
七、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
八、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
九、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。
十、此等文字，應在學問未發以前，儘量讀之，庶幾能領悟其真諦。

Handwritten text at the top of the left page, possibly a title or header.

Handwritten text, likely a date or a specific reference.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the right page, continuing the cursive script from the left page.

Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or a closing.

Final lines of handwritten text on the right page.

...

...

大... 卷之十... 第... 頁

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

... 之... 者... 也...

卷之

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

卷之

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

夫名者所以辨物也

物有異則名有別

名無定而物有常

此其所以為名也

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

十一

夫以古之所謂君子者其志也
 於道而已矣其於富貴也
 視之如土芥也其於貧賤也
 視之如衣絮也夫君子之
 所以處世者以其心之所
 安也其於富貴也非以
 其所欲也其於貧賤也
 非其所惡也故君子之
 居富貴也則知其富貴
 之不可久也居貧賤也
 則知其貧賤之不可
 移也故君子之居富
 貴也則安其富貴之
 不可以久也居貧賤
 也則安其貧賤之
 不可移也故君子之
 居富貴也則知其富
 貴之不可久也居
 貧賤也則知其貧賤
 之不可移也

夫君子之居富貴也則知其富
 貴之不可久也居貧賤也則
 知其貧賤之不可移也故君子
 之居富貴也則安其富貴之
 不可以久也居貧賤也則安
 其貧賤之不可移也故君子
 之居富貴也則知其富貴之
 不可久也居貧賤也則知其
 貧賤之不可移也

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

一、*Die Naturwissenschaften* (Natural Sciences) sind die Basis der menschlichen Erkenntnis. Sie umfassen die Bereiche Physik, Chemie, Biologie und Geologie. Diese Wissenschaften beschäftigen sich mit den Gesetzen der Natur und der Entstehung der Materie.

二、*Die Geisteswissenschaften* (Humanities) untersuchen das menschliche Verhalten, die Kultur und die Gesellschaft. Dazu gehören die Philosophie, die Geschichte, die Literaturwissenschaft und die Soziologie. Diese Wissenschaften helfen uns, die menschliche Existenz zu verstehen.

三、*Die Ingenieurwissenschaften* (Engineering) wenden die Erkenntnisse der Naturwissenschaften auf praktische Probleme an. Sie sind entscheidend für die Entwicklung neuer Technologien und die Verbesserung unserer Lebensqualität.

四、*Die Medizin* (Medicine) ist eine interdisziplinäre Wissenschaft, die die Naturwissenschaften mit den Geisteswissenschaften verbindet. Sie zielt darauf ab, Krankheiten zu verstehen, zu diagnostizieren und zu behandeln.

五、*Die Wirtschaftswissenschaften* (Economics) untersuchen die Produktion, den Austausch und den Konsum von Gütern und Dienstleistungen. Sie helfen uns, die Wirtschaft zu verstehen und zu gestalten.

1875

六、*Die Rechtswissenschaften* (Law) beschäftigen sich mit den Regeln und Normen, die das menschliche Zusammenleben regeln. Sie sind wichtig für die Aufrechterhaltung der Gerechtigkeit und der Ordnung in der Gesellschaft.

七、*Die Pädagogik* (Education) untersucht die Prozesse der Wissensvermittlung und der Persönlichkeitsentwicklung. Sie ist entscheidend für die Ausbildung der nächsten Generation.

八、*Die Kunst* (Art) ist eine Form der menschlichen Kreativität und Ausdruck. Sie spiegelt die Kultur und die Werte einer Gesellschaft wider und hat die Fähigkeit, Emotionen zu wecken und neue Perspektiven zu eröffnen.

九、*Die Sportwissenschaften* (Sports Science) verbinden die Erkenntnisse der Naturwissenschaften mit der Praxis des Sports. Sie zielen darauf ab, die Leistungsfähigkeit von Athleten zu verbessern und Verletzungen zu vermeiden.

十、*Die Umweltwissenschaften* (Environmental Science) beschäftigen sich mit der Wechselwirkung zwischen der Natur und der menschlichen Gesellschaft. Sie sind wichtig für den Umweltschutz und die nachhaltige Entwicklung.

1876

卷之四 詩經

一 賦 二 比 三 興

四 風 五 雅 六 頌

七 經 八 傳 九 注

十 疏 十一 補 十二 遺

十三 考 十四 證

十五 論 十六 說

十七 考 十八 證

十九 論 二十 說

二十一 考 二十二 證

二十三 論 二十四 說

二十五 考 二十六 證

二十七 論 二十八 說

二十九 考 三十 證

三十一 論 三十二 說

三十三 考 三十四 證

三十五 論 三十六 說

三十七 考 三十八 證

三十九 論 四十 說

一、論學問之貴乎實踐。夫學問之貴乎實踐，此千古不易之理也。蓋學問之於人，猶如飲食之於身。飲食不節，則身必病；學問不踐，則心必昏。故君子必先其踐，而後其學。所謂踐者，非徒指身體之勞，而謂心之於事也。心之於事，猶如身之於食也。食而不化，則身不健；心而不化，則事不成。故君子必先其心，而後其身。所謂心者，非徒指心之勞，而謂身之於事也。身之於事，猶如心之於食也。食而不化，則身不健；身而不化，則事不成。故君子必先其身，而後其心。所謂身者，非徒指身之勞，而謂心之於事也。心之於事，猶如身之於食也。食而不化，則身不健；心而不化，則事不成。故君子必先其心，而後其身。所謂心者，非徒指心之勞，而謂身之於事也。身之於事，猶如心之於食也。食而不化，則身不健；身而不化，則事不成。故君子必先其身，而後其心。所謂身者，非徒指身之勞，而謂心之於事也。

二、論學問之貴乎博學。夫學問之貴乎博學，此千古不易之理也。蓋學問之於人，猶如飲食之於身。飲食不博，則身必弱；學問不博，則心必窄。故君子必先其博，而後其學。所謂博者，非徒指知識之廣，而謂心之於事也。心之於事，猶如身之於食也。食而不博，則身不健；心而不博，則事不成。故君子必先其心，而後其身。所謂心者，非徒指心之勞，而謂身之於事也。身之於事，猶如心之於食也。食而不化，則身不健；身而不化，則事不成。故君子必先其身，而後其心。所謂身者，非徒指身之勞，而謂心之於事也。

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

此書題名 曰 德意志國 之 國情

其書之體裁 係 國情 之 類

其書之內容 係 德意志國 之 國情

其書之價值 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

其書之地位 係 德意志國 之 國情

其書之功用 係 德意志國 之 國情

其書之影響 係 德意志國 之 國情

... 之 功 德 亦 甚 大 矣 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 財 不 聚 財 無 德 不 用 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚

... 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚

...

... 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚

... 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚 夫 德 者 下 之所 歸 財 者 下 之所 聚

...

第一、... 第二、... 第三、... 第四、... 第五、... 第六、... 第七、... 第八、... 第九、... 第十、...

第十一、... 第十二、... 第十三、... 第十四、... 第十五、... 第十六、... 第十七、... 第十八、... 第十九、... 第二十、...

... ...

... ...

...

